

製品名: cPLA2- δ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09316**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	PLA2G4D
別名	PLA2G4D; Cytosolic phospholipase A2 delta; cPLA2-delta; Phospholipase A2 group IVD
遺伝子 ID	283748.0
SwissProt ID	Q86XP0
免疫原	抗血清はヒト PLA2G4D 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 531-580

背景

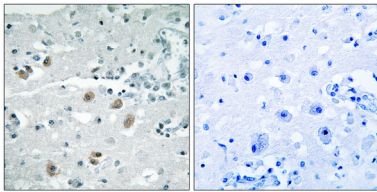
PLA2G4D を含むホスホリパーゼ A2 酵素ファミリーは、sn-2 位のグリセロリン脂質の加水分解を触媒し、遊離脂肪酸とリゾリン脂質を遊離させます (Chiba et al., 2004 [PubMed 14709560])。[OMIM 提供、2009年6月]。触媒活性: ホスファチジルコリン + H (

2) O = 1-アシルグリセロホスホコリン + カルボキシレート。ドメイン: N末端C2ドメインは脂質膜に結合し、細胞質Ca (2+)の上昇に応じて活性部位を基質に提示することでその調節を媒介します。酵素調節: 細胞質Ca (2+)によって刺激されます。機能: sn-2位のグリセロリン脂質を選択的に加水分解するカルシウム依存性ホスホリパーゼA2。アラキドン酸特異的ではないが、リノール酸特異的な活性を有する。乾癬病変における炎症に関与している可能性がある。類似性: C2ドメインを1つ含む。類似性: PLA2cドメインを1つ含む。細胞内局在: カルシウム依存的に膜小胞へ移行する。イオノマイシン刺激により核周縁領域へ移行する。組織特異性: 皮膚や子宮頸部などの重層扁平上皮に発現するが、他の組織では発現しない。乾癬表皮の上部有棘層では強く発現し、アトピー性皮膚炎および菌状息肉症では弱く断続的に発現するが、正常皮膚の表皮では検出されない。

研究分野

FcガンマRを介した貪食作用;

画像データ



PLA2G4D抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。